

山里は冬ぞ寂しき

草

まきりける人目も草も

田田思

かれぬと思へば

山里は、(ただでさえさみしいのに、)
冬にはそのさみしさが、ひとしお
まさって身にしみて感じられる
ことだな。人の往き来もとだえ、
草も枯れはててしまうとと思うと。

中二二三 氏名